

教文会議加入申込

長野県教育文化会議に加入します

氏名（フリガナ）

職員番号

生年月日（西暦で）

年 月 日

学校名

職名・教科名

メールアドレス

ご記入の上、学校の教文委員か分会長へお渡しください。ここに記載された個人情報
は教文会議において使用し、他の用途での使用は致しません。



**教文
会議**

長野県教育文化会議

長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

メッセージ

知は力なり。わかっているけど忙しい。そんな時、まずは教文の過去データを検索。分掌や教科指導についての悩みや疑問に答える蓄積と機会があります。研究会はzoomでも聴ける、まずは一歩踏み出して参加を！

小林純子（須坂創成高等学校）

私にとっての教文会議

歴史の事実を語り、正しい知識を学ぶことを考えたとき社会科教員として切実な思いに駆られる。研究会では、最新の教育学研究や幅広い分野からの講演によって、教育問題や教科に関連する内容について見識を深められるとともに、新たな気づきや発見によって授業や生徒対応の参考となるものを得ることができる。教育政策に従い受け入れていくだけでは、本質的な問題は見えない。何を教え育てようとしているのか、教育とは何か、こうした軸を持って教育活動を考えていくことが大事だと思う。

田澤秀子
（上伊那農業高校）

多様性が重視される中、迷ったり、悩んだりすることが、多くなりました。そんなことを一緒に考え、言語化していくことの可能性が、教文会議にあると思います。（松筑支部）

自分たちが学びあうことができる貴重な場だと思っています。現在文科省から下りてくる通知類はそのまま下ろされて、現場で判断して動けとしか言っていないように感じてなりません。生徒たちにとって良いもの、わかりやすく、生きていける力をつけさせるためにも教文での研究会という場は大事な場所です。（上小支部）

紙に書かれた思想は一般に、砂に残った歩行者の足跡以上のものではないのである。

歩行者のたどった道は見える。

だが、歩行者がその途上で何を見たかを知るには、自分の目を
用いなければならない。

.....

アルトゥール・ショウペンハウエル

**教文
会議**

長野県教育文化会議

長野市県町593

<http://kyobun-kaigi.sakura.ne.jp/>

TEL 026-234-2216 FAX026-234-2219

E-mail kyobun.nagano-h@educas.jp

We will learn and glow together!

教文会議へのご案内

■ 教文会議とは

県内の公立、私立の高校と大学の教職員などが会員です。学校・支部・県の研究会や学習会を開き生徒の成長を目指しています。毎月発行の教文通信やHP「長野県教文会議」(QRコード)をご覧ください。



■ 教文会議はどんな活動をしているの

県下各支部の教科・教育課題別の研究会があり研修会を開催しています。

研究会は、【教科別】国語・社会・数学・理科・外国語・芸術・家庭科・情報・商業・工業・農業・福祉・学校保健・図書館

【課題別】参加と共同の学校づくり、子どもと地域、多様な学び、生徒理解と発達、青少年文化、人権平和・国際・環境教育、教育格差と貧困問題・教育条件整備、キャリア教育・評価・進路指導教育、ジェンダー平等の教育があります。

会費について

月額 500 円 (県の会費です)

月額 200 円 (常勤・非常勤講師、再任用職員) です。

※支部の会費は支部毎に違いますので教文委員にお尋ねください。

2023年支部毎に魅力的な講演がありました！

支部名	会場	講演・講師
高水須坂	飯山高校	神戸和佳子さん(長野県立大学)「問い、聴き合い、考える?哲学対話のたのしみ?」
長水	長野県教育会館3F	映画上映「チョコレートな人々」
	支部教研はZOOM	高橋哲さん(大阪大学・教育法学者)「働き方改革のいま～給特法の解剖～」
更埴	長野南高校	寺町晋哉さん(富崎公立大学准教授)「生徒も教職員もジェンダーに縛られないために～ジェンダーと教育入門編～」
上小	上田東高校	赤塚正一さん(小諸市教育委員会教育支援センター相談員・指導主事)「発達障がいのある児童生徒のウェルビーイングの実現～本人の将来を見据えた切れ目のない支援について考える～」
佐久	野沢中学校	岡野八代(同志社大学)「ケアをめぐる視点。(仮)」
諏訪	岡谷東高校	馬場智一さん(長野県立大学)「誰でもできる哲学対話」
上伊那	上伊那農業高校	宮下与兵衛さん(東京都立大学客員教授)「なぜ日本の大学生は発言しない、討論できないのか」
下伊那	飯田高校	岡本尚也さん(一般社団法人Glocal Academy 代表理事)「効果的な探究活動のためのポイントとカリキュラムマネジメント」
木曾	木曾青峰高校・木曾福島宿	「地域巡検」案内人と歩く福島宿史跡めぐり、文化体験
松筑	松本工業高校	西野貴博さん(株式会社松本山雅)「現代のアカデミー選手の育成」
安曇	大町岳陽高校	5研究会を開催

教文会員になると

研究会参加費は無料。

研修会への旅費をお出しします。

宿泊の研究会は宿泊費補助があります。

(民間の研究団体はもちろん手弁当ですが!!)

教育に関する情報提供、教育関連資料・DVDなど無料貸出、研究会等で書籍割引があります
そして教科・分掌・生徒にかかわる教育力をアップ
教育実践のヒントを見つけることができます!!!

2024年豪華な講師が来ます！

■ 児美川孝一郎さん(法政大学教授) 4月

「今日の教育改革は、高校教育をどこに導くのか? —教育DX, 制度再編, 公教育の溶解—」

■ 岡 耕平さん(滋慶医療科学大学院医療管理学研究科准教授) 6月

「特別支援教育と生徒支援」

■ 伊藤亜紗さん(東京工業大学准教授)

2024年度県教研記念講演

(詳細は長野県教文 HP をご覧ください)

